



野沢北高校 校長通信

令和6年 7月31日 号

高体連の大会では、今年も「日輪天に昇るがごとく」本校生が活躍しました。多くの生徒が県大会に出場し、陸上班、水泳班、柔道（個人戦）は北信越大会に進出、さらに、3年生の後小路葉月さんは昨年に続いて全国高校総体（福岡開催）に出場しました。

野球班は、今年創部120年を迎えました。6月23日、本校が甲子園に初出場した1974年の全国優勝校、千葉県立銚子商業高校を佐久市運動公園野球場に招き記念試合が行われました。7月の全国高校野球選手権長野大会では、2回戦で伊那北に快勝、優勝校に敗れた3年生の悔しい思いは、来夏の後輩の活躍に託されました。

◆生徒有志「第九を歌う会」



「第九を歌う会」のメンバーによる早朝練習風景：於：岳南会館

◆野球班創部120周年招待試合



千葉県立銚子商業を迎えての招待試合

選手権長野大会



3回戦に進出

前期中間考査後、校内は第57回日輪祭準備期間に入りました。実行委員長の茅根鈴さんを中心に、感染症、熱中症に配慮しながら、全校生徒が力を合わせて、コロナ以前のフル規格での開催が実現し、様々な新しい取組にもチャレンジしました。6月28日の前夜祭、2日間の一般公開、さらに合唱コンクールと後夜祭、毎年「日輪祭に係わりたくて」入学してくる生徒がいるほど、北高生にとっては特別なイベントです。梅雨期にも係わらず天候に恵まれ、鮮やかな花火と生徒の歓声で日輪祭は閉幕しました。

◆第57回日輪祭



協力してクラス展準備



一般公開の準備開始



運動会も力を合わせて



後夜祭まで全校交流

日輪祭の前夜祭で、プレゼンテーションコンテストの結果発表と表彰式が行われました。探究は、3年4組の「佐久市のプルーンを使った活性化」、課題研究は3年5組「スズ樹と磁石の関係性」が最優秀賞となり表彰されました。また「スズ樹と磁石の関係性」の研究は、信州サイエンスミーティングのポスター賞も受賞しました。7月22日には、「長野発宇宙ビジネスを考えてみよう」をテーマに、KDDI技術統括本部の市村周一氏を本校にお招きし、1・2年生理数科80名とワークショップを開催しました。市川氏は、本校OBの油井亀美也氏とともに宇宙飛行士を目指していた経歴をお持ちで、生徒は高い関心をもって取組みました。

◆最優秀探究賞メンバー



教室で受賞記念撮影

◆最優秀課題研究賞メンバー



長野県総合教育センターでの発表

◆「野沢北・KDDI」共創プロジェクト



「宇宙ビジネスを考える」ワークショップ（岳南会館）



【夏季休業後の予定】

- 8月27日～8月30日 前期期末考査
- 8月30日 推援会（卒業生から1・2年生への大学受験体験談発表会）